

世田谷区では、UIDのまちづくりを進めています。まちの中にはさまざまな区民が使いやすい施設や設備が増えています。そのため、まちに出かけやすくなった人がいます。これらの施設や設備はどのような人が、どうやって使っているのでしょうか。



上下の移動

階段を使うことが難しい人もいるよ。自分やまわりの状況に合わせて、ゆずりあったり、使いやすいものを選んで使うようにしようね♪



駐車場

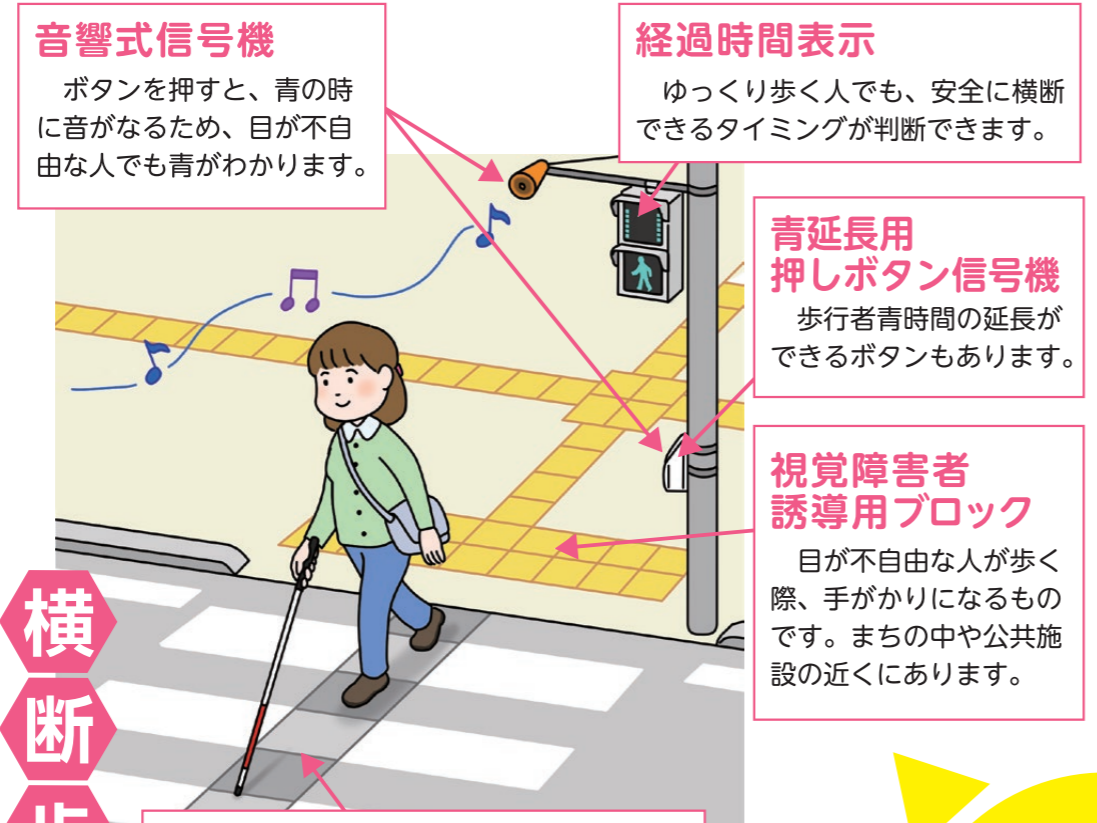
あれ？この白い斜線は何のためにあるんだろう。 → 6ページ

使って良いのかな？  
迷っちゃうな。



例えば、こんなところ！

トイレ



横断歩道

**音響式信号機**  
ボタンを押すと、青の時に音なるため、目が不自由な人でも青がわかります。

**経過時間表示**  
ゆっくり歩く人でも、安全に横断できるタイミングが判断できます。

**青延長用押しボタン信号機**  
歩行者青時間の延長ができるボタンもあります。

**視覚障害者誘導用ブロック**  
目が不自由な人が歩く際、手がかりになるものです。まちの中や公共施設の近くにありま。

**エスコートゾーン**  
点状のラインで、目が不自由な人が手がかりにして、横断歩道から外れることなく、安全に横断することができます。



おや？広いトイレがあるね。誰がどうやって使うんだろう？ → 4ページ

### 「世田谷UDスタイル」とは

多くの人がまちを快適に利用するための工夫や配慮を、自分自身の日常の暮らしに取り入れ実践していくことが「世田谷UDスタイル」です。様々なスタイルをこの冊子では紹介しています。

### 第8号の内容

- まちの中にあるさまざまな施設や設備 02 03
- トイレにあるさまざまな設備 誰が、どうやって使っているの？ 04 05
- 駐車場の使い方について 06
- 外見からは分からない、さまざまな人のニーズ 07
- ワークショップの様子 心のバリアフリーって何？ 08
- インタビュー 「適正利用」の考え方 09
- UDのゲーム 10
- クイズ：何のマーク？ 11
- 世田谷区のお取り組み 裏表紙

### UD(ユニバーサルデザイン)とは

年齢、性別、国籍、能力等に関わらず、できるだけ多くの人利用しやすい生活環境にするという考え方です。